覺

一、所々川除御普請入用之事。
一、里子給米并飯米代之事。
一、往還筋渡舟入用并渡守給銀之事。
右郡打銀多懸候由相立御耳、此三色當暮より向後御納戸銀に而可被申付旨被仰出候條、可被得其意候。以上。

九月廿七日　奥村因幡
今枝民部
奥村河内
前田對馬

津田宇右衛門殿
岡嶋五兵衛殿

二四　米・鹽其他津入・津出之儀觸

覺

一、加州・越中并能州羽咋・鹿嶋兩郡江者、他國之米如跡々彌入被申間敷候。但、御國より他國江米出候儀者不苦候。能州鳳至郡・珠洲郡者、如跡々他國之米入可被申事。
一、鹽三ケ國共他國よりは如跡々入被申間敷候。是又他國江出候儀者不苦候事。
一、大豆・油并油種は、三ケ國共曾而他國江出申間敷候。他國より來り候分は、何程に而茂津入可被申付事。
一、御領國中百姓方より致納所候升、并百姓之方江作食等渡候刻者、如跡々可爲斗升事。
一、納俵等拂いたし候刻者、今度改被仰出候燒印寛文八与有之京升、御分國中一統可用事。
一、京升は來酉之年正月朔日より用候樣に被申觸、跡々より御分國中用來候升被致吟味、不殘取上可被申事。
右之外諸色津留無之候。得其意、御分國中可被申觸候。以上。

寛文八年十月廿四日　本多安房
今枝民部
奥村因幡
前田對馬
横山左衛門
長九郎左衛門

奥村伊豫

津田宇右衛門殿
岡嶋五兵衛殿

二五　新京升使用之儀觸

覺

一、御分國中百姓方より納候斗升・斗子共、今年より御改、新京升十入之一斗升被仰付候事。
一、跡々より斗升と新京升との升違、定納五斗に付一升五合、口米四升に付一合、兩樣之出目一升六合口米四升之内江斗込、向後口米定納五斗に付五升六合、別俵にいたし納候樣可被申付事。
一、百姓中に御貸被成候作食米之儀、跡々之斗升と新京升之升違之出目分、惣作食米に増可被申付事。
右之通被得其意、御家中面々并百姓中江之儀者不及申、町方迄不殘可被申觸候。以上。

戌七月廿六日　寄合

朱書。元升は五寸四方に深さ二寸五分。新京升は四寸九分四方に深さ二寸七分。

二六　九十歳以上御扶持方被下候儀御定

一、御領國中に在之九十歳以上之男女、今度御吟味之上御扶持方被下儀、爲助成計に而無之候。老後身茂不自由可有之候。子孫彌孝行を加へ養ひ可申候。其身茂年寄、諸事ひがみ有之ものに候得者、心だてを嗜、子孫純熟いたし養を請爲可申、一人扶持宛被下候間、其身并子孫共に、此趣可申聞旨所被仰出也。

戌八月三日

二七　往還道修理之儀觸

御分國中往還道、去年・當年に而作り立相濟候に付、道奉行御取立被成候間、向後者郡切其手合之十村致裁許、道少損之内に爲直可被申旨被仰出候間、此段郡奉行・改作奉行相談可被申渡候。以上。

寅十二月廿六日　奥村因幡